

会議記録

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第17回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日時 令和6年2月20日（火）19:30～20:05
- 場所 ライフピアいちじま 研修室
- 出席者 委員：坂谷 高義、木寺 章、由良 英樹、松本 和樹
吉井 公乃、高橋 麻美、岸本 菜実、内田 順子
芦田 繁昭、田野 悟
（欠席委員：瀧上 利美、高見 忠寿、宇佐美 大介）
教育総務課：足立課長、安平副課長、船越係長、河南
学校教育課：小森副課長
ふるさと定住促進課：藤浦課長、足立係長

1 報告・協議事項

（1）通学支援について

美和地区児童の通学支援について、美和地区委員の中で話し合われた内容を美和地区委員から代表で報告された（内容は、通学支援に路線バスを活用するという方向の決定報告、決定に至った経緯の報告）。

報告を受けて、採決をとられた結果、出席委員全員の賛成により、三輪小学校区児童の通学は路線バスを活用することが決定（承認）された。その後、事務局から今後のスケジュール（案）に関する参考資料を追加で配布し意見交換を行った。

<美和地区委員より報告>

委員： 前回（1月22日）の統合準備委員会では、1月20日、21日に保護者やその家族の方から通学に関する疑問や意見などの連絡が入り、そのままの状態でも美和地区としての方向性を示すことが難しいと思われたので、時間をいただくことになった。今回、美和地区統合準備委員として、通学支援に路線バスを使用するという方向性が決まったので、その経緯について報告させていただく。

【決定に至る経緯】

1月20日、21日に意見をいただいた2組（3名）に対して、2月1日と6日にそれぞれ面談を行い、これまでの経過や市の方針について詳しく説明する機会を設けた。市の各担当者や美和地区統合準備委員で質疑応答を行い、路線バスを通学支援として利用することについて一定の理解を示していただくことができた。面談では、他にも意見がある方がいるという情報や丁寧な説明を重ねてほしいといった進め方に対する不満、不安の意見があった。また、路線バスに関する質問や疑問の意見に対しては、ふるさと定住促進課から、路線バスは通学だけでなく地域の公共交通としても運行される予定であることから、今後、美和地区自治振興会に向けた説明や地域への周知により理解を深めていくと説明された。

保護者に対するこれまでの説明として、（12月5日に）三輪小学校3年生以下の保護者と認定こども園の保護者に向けて、通学支援の説明会や質疑応答を

行い、質問に対する回答の資料配布を行った。さらに、2月9日と17日に、再度通学支援に関する意見や質問をいただく機会を設けた。3名の保護者が参加され、通学の時間やバス停の位置などに関する意見をいただいた。通学時間については、吉見小学校に7時40分～8時00分の間に到着すること、バス停の位置は今後の協議となることを美和地区委員から説明した。また、路線バスに抵抗はないが、鴨庄地区や前山地区がスクールバスであることから不公平感があるという意見、地域の活性化や少子化対策などの将来を見据えて路線バスのラッピングについては、丹波竜のマスコットキャラクターであるちーたんのラッピング（立体化など）にするなど、子どもたちが乗りたくなる、うらやましがられるようなデザインにしてほしいという意見もあった。

子どもだけで路線バス通学することを不安視する意見もあったので、モビリティマネジメントを通じた教育や乗車体験の実施の他、各年度当初に1～2ヶ月の添乗員の配置について検討をお願いしたい。

(以上のおり、いただいた意見は) 路線バスでの通学に反対の意見ではなく、今後の協議内容や参考意見であったことから、美和地区統合委員として通学支援は路線バスでよいと判断した。



<採決>

美和地区委員より報告を受け、採決をとられた結果、出席委員全員の賛成により、美和地区児童の通学支援は路線バスを活用することが決定（承認）された。その後、事務局から今後のスケジュール（案）に関する参考資料を追加で配布し説明した。



<参考資料に関する意見>

委員：今後のスケジュール案について、6月の保護者試乗会の実施は1回だけか？

→ふるさと定住促進課：4月から7月まで社会実験を実施するが、並行して児童の利用に向けたモビリティマネジメントや保護者の試乗会を実施する予定である。児童の試乗会の実施は1回を予定している。保護者の試乗会の実施についても1回を予定しているが、参加できない場合もあるので、詳細は今後調整したい。また、平日に社会実験のバスは運行しているので、乗っていただくことができる。

委員：試乗会は美和地区の住民も一緒に乗るのか？

→ふるさと定住促進課：社会実験について再度説明させていただくと、社会実験中の運行ルートは、吉見小学校に入らずにライフピアいちじまに向かうルートとなる。社会実験時のバスは、本格運用時より小さい中型バス車両で、平日の運行となり、一般の方の利用も可能である。朝の通学の時間帯にできるだけ合わせて運行し、実際の交通事情を見ながら運行ダイヤの調整、バス停の確認を行う。参考資料に記載している試乗会の参加者については、保護者だけでなく、地元の方も体験したい場合もあると思うので、今後調整していきたい。

委員：先のことになるが、令和8年2月、3月頃にプレ登校が実施されると思う。プレ登校では、本格運行同様のバス車両を使って3日間程度運行をしてほしい。

→ふるさと定住促進課：そういった機会は必要だと思う。全く同一の車両かどうかは運用の都合もあるのではっきりと言えないが、できるだけ早期の路線実現をしたいと考えている。プレ登校の運行便など今後調整していきたい。

(2) その他

事務局より2点の報告を行った。

- 1点目：現在の校歌歌詞、校章デザインの応募数（校歌歌詞14、校章デザイン26）を報告した。また、募集に関する周知状況について報告した。
- 2点目：令和6年度統合準備委員会委員の選出依頼について報告した。

2 次回日程

未定

(令和5年度の開催予定なし)

(令和6年6月頃に校歌歌詞、校章デザインの選考を予定)